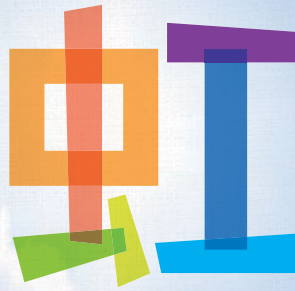


co-op

三重の生協の
今を伝える

みえの



No.127

2021年8月

三重県生活協同組合連合会

〒514-0009 三重県津市羽所町379
TEL.059-228-9913 FAX.059-228-9915

三重県生活協同組合連合会 第45回通常総会の開催

三重県生活協同組合連合会 第45回通常総会を2021年6月23日(水)にアスト津アストホールで開催しました。コロナ禍の下での開催となったため代議員総数32名に対し実出席7名、書面議決25名での開催となりました。

上野会長理事と、三重県原爆被災者の会 山口会長からのご挨拶の後、鈴木専務理事が、議案提案をおこない、代議員による審議の後、すべての議案が満場一致で可決されました。議案審議では、代議員や会員生協からコロナ禍での事業や活動の状況、SDGsに関わっての取り組みが報告され、審議を深めました。



開会挨拶
上野会長理事



来賓挨拶
山口会長



議案提案
鈴木専務理事

■ 当日発言の要旨 ■

三重大学生協と、三重短期大学生協、 三重県立看護大学生協

新型コロナウイルス感染症の拡大による大学の変化と大学生協の対応、会員生協からの事業支援のお礼、厳しい経営状況が続くが生協らしさを大切に取り組みでいきたい。



みえ医療福祉生協

高齢者のフレイル予防と安否確認の取り組み、生活困窮者や学生への支援活動、無料低額診療事業、送迎ボランティアによる通院サービス、新病院建設運動、医療現場は感染対策の負担と長期化による疲弊感の蓄積、開業医などで受診できない患者の受け入れ等の報告、ワクチン接種も始まり職員もあと少し頑張ろうと日々一丸となって頑張っている。



SDGsの目標を実現するため「コープのエシカル消費」の推進、被災地を支援するため商品の利用を通じた募金活動、2021年度活動方針等、コロナ禍で不安を抱え続けながら取り組んできた。

三重県学校生協



SDGsに関わり生産者を守る牛乳の利用結集、市町社会福祉協議会と連携した生活困窮者への支援活動、三重県の支え愛募金、エシカル消費の推進、環境活動と福祉団体への寄付活動、平和活動等、コロナ禍でのつながりを大切にしてきた。

コープみえ



コロナ禍で訪問や来店が減少、感染対策を講じながら何ができるのか考えあった。マイページの登録、ダイレクト加入の広報、窓口での対応と環境整備をすすめた。窓口での安心と満足していただけの対応を心掛けていく。

三重労済生協

一人は万人のために 万人は一人のために

生活協同組合
コープみえ

みえ医療福祉
生活協同組合

三重県学校
生活協同組合

三重大学
生活協同組合

三重短期大学
生活協同組合

三重県立看護大学
生活協同組合

三重県労働者共済
生活協同組合

2021年度役員紹介



会長理事(代表理事)	上野 達彦	(員外)	重任
副会長理事	堀尾 茂貴	(みえ医療福祉生活協同組合 専務理事)	重任
専務理事(代表理事)	鈴木 稔彦	(生活協同組合コープみえ 理事長)	重任
理事	古市 早苗	(三重県学校生活協同組合 専務理事)	重任
理事	村田 哲	(三重大学生活協同組合 専務理事)	新任
理事	小川 喜市郎	(みえ医療福祉生活協同組合 理事)	新任
理事	大野 智香子	(生活協同組合コープみえ 副理事長)	重任
理事	鈴木 克彦	(生活協同組合コープみえ 専務理事)	重任
理事	渡邊 浩伸	(三重県労働者共済生活協同組合 専務理事)	重任
監事	大川 博	(みえ医療福祉生活協同組合 監事)	重任
監事	森下 智	(生活協同組合コープみえ 常勤監事)	重任

2021年度専門委員会、プロジェクトチーム

平和活動委員会

地域の平和活動団体とのつながりを深め、核兵器廃絶と戦争のない平和な社会づくりにむけ取り組んでいきます。

食と健康の委員会

会員生協の食と健康に関わる取り組みがすすむことをめざすとともに、学びの機会をつくっていきます。

協同をすすめる委員会

三重大学人文学部特殊講義「協同組合論」の運営を担い、あわせて関係する諸団体との連携を推進します。

連帯と生協連のあり方 検討チーム

会員生協の課題を連帯で解決していく関係づくりと、連帯による新たな力を生み出していけるよう検討をすすめます。

大規模災害に備える プロジェクトチーム

三重県での甚大な被害発生を想定し、会員生協と事業・地域活動の面から必要な備えの検討をすすめます。

2021年生協大会実行委員会

会員生協と連帯し情勢に応じて地域のみなさんと社会的な課題やくらしの課題について考えあう機会となるよう検討をすすめます。

活動報告

消費者市民ネットワークみえ 第4回通常総会を開催しました

2021年5月15日(土)、三重県教育文化会館 大会議室にて消費者市民ネットワークみえ第4回通常総会が開催されました。

会員総数64名(団体会員8、個人会員56)に対し55名が参加し、第1号議案から第3号議案まで全会一致で承認可決されました。

吉本代表(三重大学前副学長)は、総会の開会にあたりコロナ禍における新しい生活様式が求められ、その中で新たな暮らし方への可能性の発見もあった。その一方で、自粛生活によるストレスの増大や、経済的な影響と不安、感染者への差別などの問題が発生した。コロナ禍における会員の活動報告をお聞きいただきたいとご挨拶されました。

斎藤副代表(三重弁護士会)より議案提案が、村林監事(三重弁護士会)より監査報告がなされ、当日発言では、コロナ禍の終息後、北勢地域での「くらしなんでもカフェ」の開催を期待したいという意見が出されました。また、6名の会員からコロナ禍における活動の紹介がありました。



お知らせ

奨学金問題学習会「どうなっているの？奨学金」を開催します

申込フォーム▼

<https://form.os7.biz/f/a339635e/>

奨学金の返済等が若年層の暮らしを厳しいものにしていきます。

奨学金が社会的な問題に及んでいること、消費者にとって奨学金制度のしくみが知られていないこと、そのしくみが分かりにくいこと等が、この問題の解決を遠ざけています。

奨学金制度のしくみを理解し、奨学金をめぐる起きている事実を、と一緒に学びましょう。

日時 2021年9月11日(土) 10:00～12:00

場所 リモート (Zoom) 及び、アスト津会議室1 (パブリックビューイング)

講師 大内 裕和氏 (中京大学教養教育研究院 教授)

募集人員 リモート100人程度、会場30名程度 **参加費** 無料

* 新型コロナウイルスの感染状況によりリモートのみで開催する場合があります。

* 参加のお申し込みはインターネット (三重県生協連) とお電話 (コープみえ) で受けつけています。9月3日(金)まで。

【申込電話番号】059-271-8503 (コープみえ組織活動推進課)



お知らせ

学習会「これからの社会保障のあるべき姿を考える」を開催します

国内では少子化に歯止めがかからず40年連続で14歳以下の子どもの数が減少しています。2020年は、前年より19万人少ない1493万人で過去最低を更新しました。人口減少と少子高齢化がすすむ一方で、2025年には75歳以上の人口が、全人口の18%以上を占め、5人に1人近くが75歳以上という超高齢社会になります。医療や介護などの負担と給付の割合が大きく変わるとみられています。

また、2019年10月に消費税が10%へと増税されたことや、新型コロナウイルス感染症のひろがり等が重なり、それらの影響による収入減や、消費税の増税による支出の拡大で消費者の暮らしは厳しくなっています。年金や、医療費問題、介護保険制度など政府がすすめている「全世代型社会保障」と本来あるべき「自助・共助・公助」、経済格差のひろがりや貧困問題にも目を向けた社会保障のあるべき姿について、一緒に学びましょう。



申込フォーム▲

<https://form.os7.biz/f/0f80cbd6/>

日時 2021年9月25日(土) 10:00～12:00 **参加費** 無料

場所 リモート (Zoom) 及び、三重県教育文化会館第2会議室 (パブリックビューイング)

講師 長友 薫輝氏 (三重短期大学生活科学科 教授、三重短期大学生活協同組合 理事長)

募集人員 リモート100人程度、会場30名程度

* 新型コロナウイルスの感染状況によりリモートのみで開催する場合があります。

* 参加のお申し込みはインターネット (三重県生協連) で受けつけています。

お電話でのお申し込みは所属生協にお申し込みください (9月15日まで)。

・コープみえ組織活動推進課: ☎059-271-8503 ・みえ医療福祉生協組合員活動部: ☎059-213-8668 ・三重県学校生協: ☎059-230-730
 ・こくみん共済COOP三重推進本部: ☎059-227-6167 ・三重大学生協、三重短期大学生協、三重県看護大学生協: ☎059-231-1103

お知らせ

東日本大震災から10年 その時、障がい者は… 映画「星に語りて～Starry Sky～」上映会を開催します

2011年3月11日に発災した東日本大震災による傷跡は、未だに人々の心の中に深く刻まれています。しかし、障がいのある人の死亡率が全住民の2倍だという事実はあまり知られていません。震災当時の障がい者の状況と、支援者の活動を知ることによって災害と福祉について、一緒に考えましょう。

また、同年9月には、台風12号による「紀伊半島大水害」が発災しました。この災害は、2名の死者と1名の行方不明者を出すなどの大惨事をもたらしました。身近で起こった災害を教訓に、自然災害へ備えることの重要性を確かめ合ひましょう。

日時 2021年10月24日(日) 13:00～16:00 **参加費** 無料

場所 アスト津 アストホール **募集人員** 99人

* 参加のお申し込みはインターネット (三重県生協連) で受けつけています。

募集人員を超えた段階で受付を終了します。

申込フォーム▶

<https://form.os7.biz/f/1305ffa0/>





生活協同組合コープみえ

一年半に及ぶ新型コロナウイルスのまん延は、私たちの暮らしに大きな影響を与え、活動制限の中で雇用や家計の不安、地域からの孤立がひろがり、生活困窮の問題が身近に起こっています。

コープみえは、これまで、「生活困窮者自立支援の連携に関わる協定」等を13市町の社会福祉協議会と締結（2021年6月現在）し、組合員からの良品返品を中心に物資提供するなど、ともに地域でのたすけあいをすすめています。

また、みえ医療福祉生協をはじめとする地域で活動される方々からの呼びかけがあり、桑名・津地域のフードパントリーの取り組みに参加しています。

今後は、組合員のみなさんとともに、自分の住むまちで起こっていることを知り、たすけあう“フードドライブ”の検討を地域ごとにすすめていきます。

SDGsの実践を地域ぐるみで一緒にすすめていきましょう。



三重県生活協同組合連合会会長理事 上野達彦 (連載)

わたしの入院記

私は、昨年の中秋から晩秋にかけてと、今年(2021年)1月15日から7月21日までの2度にわたって入院した。

私にとって初めての長期入院であり緊張の連続であった。私に取り憑いた病巣は2つ、ひとつは人の身体には動きをよくするために大脳皮質の指令を調節しているのが、ドパーミンといわれている。このドパーミンが何らかの原因によって減少する難病で、この病気は年々増加の傾向にある。この病との出会いは10年を超えたが、社会生活に格別な何とか激務にも耐えることができた。

2つ目は人の高齢化とともに進む骨の老化である。人が高齢化を迎えるにあたって避けることのできない骨の老化は、おもわぬところからやってくる。私の場合、それは突然やってきた。

転倒である。この際、とくに骨盤の崩壊は深刻であった。このため、慎重な検査をおこない、2度の手術を受けた。現代のような高齢化社会にあって、この種の病気はしばらく増え続けることになるでしょう。

以下に、私が体験した病院事情の一端を紹介してみよう。病院内で医師、看護師、その他医療従事者の患者に対する献身な配慮に深謝するが、立場によっては一方的方針の押しつけとみられる言動もあった。

例えば、世界を震撼とさせた新型コロナウイルスと人類との死闘に関連して、病院は予防策を徹底した。私の入院した病院でも、患者と家族を含む部外者との接触は一律一切禁止であった。

このような措置は、社会からも当初好意的に受け入れた。しかし、このような措置に違和感を抱く者は私だけだろうか。もちろん、ウイルスに対するリスクは最小限に抑えるべきである。これは大儀である。医師や看護師が患者を受け入れ、これを治癒させることも社会的な大儀である。病院が示す方針に対し、医療従事者間とが課題を話し合うための地域医療検討委員会を設けるなどである。

もうひとつ、患者と看護師側による真夜中の活躍である。私が入院した病院では2名から4名の看護師がローテーションで真夜中の勤務にあたる。患者はおおよそ30～40名程度、「トイレに連れて行って欲しい」から「睡眠薬を頼む」「ベッドの下の物をとってくれ」などの細かな患者の要求をこなしていく姿には頭が下がった。

私にとっては、人が他者の健康にどれほど純真な愛をもって献身的に慈しむことができるかを考えた期間であった。しかし、医療的弱者である患者にとっては、親しい人々から遮断され、精神的な不安を抱えるなど、メンタル面における救済策も必要なのではないかと思った。

